



2023年10月13日

各 位

会社名 株式会社 東京 衡 機
代表者名 代表取締役社長 小塚 英一郎
(コード番号 7719 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員 管理部長 小松 明司
(TEL. 050-3529-6502)

業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2023年4月14日に公表いたしました2024年2月期第2四半期累計期間連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年2月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績値の差異(2023年3月1日~2023年8月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,500	40	35	30	円 銭 4 21
実績値(B)	1,716	95	102	61	円 銭 8 57
増減額(B-A)	216	55	67	31	—
増減率(%)	14.5	139.2	193.0	103.7	—
(ご参考)前年同期実績 (2023年2月期第2四半期)	1,431	40	71	45	円 銭 6 39

2. 差異の理由

2024年2月期第2四半期累計期間の連結業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前年同期および期初の予想を上回る結果となりました。

この主な要因としては、試験機事業においては、国内企業の設備投資意欲に持ち直しの動きが見られ、海外渡航制限の緩和により中国や韓国などの海外の企業からの製品受注も回復してきたことから、標準的な試験機を中心に売上高・利益ともに期初の予想を上回る結果となりました。また、エンジニアリング事業においては、ゆるみ止め製品について、引き続き社会インフラ向けや国内建設市場向けに営業活動を進めた結果、公共工事や都市開発関連で使用する製品の販売は堅調に推移し、エネルギー関係の工事案件で使用する製品の需要が期初の予想よりも大幅に伸びたことから、売上高・利益ともに前年同期を大きく上回る結果となりました。

なお、2024年2月期通期連結業績の見通しにつきましては、現時点では、前回公表予想数値を据え置きといたしますが、2023年4月21日に公表した「上場維持基準の適合に向けた計画」にてお知らせしましたとおり、当社は、中期経営計画の策定・公表を準備しており、今後の見通しを精査しておりますので、業績予想の修正が必要と判断された場合は速やかに開示いたします。

以 上